

2020年8月5日

各位

会社名 ミナトホールディングス株式会社
代表者 代表取締役会長兼社長 若山 健彦
(東証 JASDAQ コード: 6862)
問合せ先 取締役経営企画部門長 三宅 哲史
(TEL 03-5847-2030)

株式会社パイオニア・ソフトとの資本業務提携に関するお知らせ

当社は2020年8月5日開催の取締役会において、株式会社パイオニア・ソフト（以下、「P S」といいます。）との、当社子会社との経営統合を視野に入れた資本業務提携（以下、「本資本業務提携」といいます。）について決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 本資本業務提携の理由

当社は、子会社の株式会社イーアイティー（以下「E I T」といいます。）において I T 技術者派遣やシステム受託開発などのシステム開発関連事業を手掛けるほか、グループ各社で産業機器用途向けメモリーモジュール等の設計・製造・販売事業、半導体デバイスへのプログラム書込み装置や自動プログラミングシステムの製造・販売及び書込みサービス、W e b サイト構築コンサルティングなど多様な事業を展開しております。また常に新しい技術とマーケットに挑戦し続け、近時は高性能 2 眼カメラセンサーを使った I o T 関連の新規事業開発にも積極的に取り組んでおります。

P S は、福岡市において 1976 年に創業し、現在は福岡、東京、ベトナムを拠点としてシステム構築、ソフトウェア開発等を行うソリューションサービス企業です。大手システム・インテグレーターや大手証券系グループとの長期かつ強固な取引基盤や業務アプリケーション開発に強みを持ち、主業務として E R P パッケージのカスタマイズ、金融システムなどの受託開発、システム開発・保守現場への I T 技術者派遣などを手掛けております。国内において約 140 名の I T 技術者を擁し、直近期では売上高約 17 億円を計上するとともに、顧客に対する新規ソリューションの開発にも積極的に取り組んでいます。

国内 I T システム業界におきましては、企業の I T 活用が高度化・多様化しており、それをサポートする I T 事業者側でも事業構造の継続的な見直しと改善へ向けた施策が必要となっています。特に E I T や P S のような中小規模のシステム開発関連事業者にとっては、効率的な業務運営により収益力を高め、質の高い I T 技術者を多数擁することにより、高度化する顧客企業の I T 活用ニーズに答えていくことがこれまで以上に求められております。

このような状況において当社は、当社、E I T、P S が幅広い業務範囲において互いに協力し、また将来的な E I T と P S との経営統合を視野に入れた戦略的な提携関係を構築することが、システム開発関連分野における中長期的な成長に繋がるとの認識から、今般、本資本業務提携を行うことを決定いたしました。

2. 本資本業務提携の内容

当社、E I T、P S間で資本業務提携契約を締結し、広範な業務提携関係を構築するとともに、当社がP Sの優先株を引受け、当社から取締役及び監査役を派遣いたします。また、本資本業務提携の成果及び見通しを確認した後に、当社がP S普通株式の過半を取得しP Sを連結対象子会社化するとともに、E I TとP Sの経営統合についても、P Sとともに前向きに検討してまいります。

(1) 業務提携の内容

当社グループとP Sは、以下を含む広範な業務範囲において相互に協力し、収益力及び企業価値を向上させる施策を積極的に展開いたします。

① システム開発分野での協力

E I TとP SはI T技術者派遣やシステム受託開発における営業面において協力するほか、E I TとP Sの東京拠点の一体運営を行うことで効率的な経営を進めてまいります。両社は取引先企業の重複も少ないことから営業における相互補完が期待できるほか、両社を合わせたI T技術者数はベトナム子会社を含めて250名に迫り、I T人材の厚み、適応力、開発力を備えることで、最適な人的資源の配分を行うとともに、顧客企業に対する提案力も向上させてまいります。

② P Sの事業における当社グループ経営資源の有効活用

P Sは汎用性ある業務アプリケーションの自社開発にも注力するほか、自社人材の技術力・開発力を活用した新たなサービスの展開も目指しており、今後、当社グループ企業の経営資源を活用したP Sの新規サービスやソリューションの展開を推進します。

③ 経営および管理部門における協力

当社グループの経営管理ノウハウをP Sに提供するとともに、効率的な財務運営についてのサポート等も行っております。また、E I TとP Sは同じシステム開発事業者として管理部門を中心に共通部分があることから、今後両社にて効率的な業務運用を推進してまいります。

(2) 資本提携の内容

P Sが第三者割当の方法により実施するA種優先株式80百万円の発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）を行い、当社にて全額を引き受ける予定です。普通株式ではなくA種優先株式とすることでP Sの現株主構成と一定の経営独立性を維持しつつ、当社とP S主要株主との間で株主間契約を締結することで、当社はP S主要株主とともにP Sの経営に積極的に関与してまいります。

当社は(1)記載の業務提携により、E I TとP Sの業務シナジーの発揮と成長をサポートしつつ、本資本業務提携の成果及び見通しを確認した後、2022年3月までを目途として、普通株式を対価とする取得請求権を行使してA種優先株式を普通株式へ転換し、P Sを連結対象子会社化するとともに、E I TとP Sの経営統合について、P Sとともに前向きに検討してまいります。

P Sは現在、定款により種類株式を発行することはできませんので、今後すみやかに開催予定の臨時株主総会において定款変更及び本第三者割当増資に関する各議案の承認を得ることとし、その後に払込を実行する予定です。

また、当社とP Sの主要株主は、P Sの取締役会機能の高度化を目的として、当社から3名の

取締役及び1名の監査役を指名し、選任することについて合意しております。本第三者割当増資の実施後、P Sはすみやかに臨時株主総会を開催し、当社が指名する取締役候補者ならびに監査役候補者の選任議案を上程する予定です。なお、当該臨時株主総会において上程される議案が決議される場合、当社代表取締役会長兼社長若山健彦が代表取締役会長に、当社取締役有澤寛と三宅哲史がそれぞれ取締役に、当社常勤監査役門井豊が監査役に就任予定です。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社パイオニア・ソフト	
(2) 所 在 地	福岡県福岡市南区清水四丁目22番16号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 森永 洋昭	
(4) 事 業 内 容	コンピュータシステム/コンピュータソフトウェアの企画、設計、開発、販売、保守、顧客へのサポート業務、技術者の派遣	
(5) 資 本 金	61,000,000円	
(6) 設 立 年 月 日	1976年10月9日	
(7) 上場会社と当該会社との関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。

※当該会社及び株主との契約による守秘義務に基づき、大株主及び持ち株比率、並びに経営成績及び財政状態は非開示とさせていただきます。

4. 日程

(1) 取締役会決議日	2020年8月5日
(2) 契約締結日	2020年8月5日

5. 今後の見通し

本件株式取得が当社2021年3月期連結業績に与える影響は軽微であります。本資本業務提携によるシナジー効果の発揮や経営統合の検討等を通して、中長期的に当社グループの業績及び企業価値の向上に資するものと考えております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、すみやかにお知らせいたします。

以上